

クローズアップ

# 余部 クリスタルタワー



建物外観



菅谷 将人

(Masato Sugaya)

三菱電機エンジニアリング株式会社  
昇降機技術部

## 1. はじめに

余部鉄橋の新名所として、余部クリスタルタワーが完成しました。

余部鉄橋は、明治45年(1912年)の完成から約100年間、JR西日本山陰本線の運行を支えてきました。鉄橋自体は平成22年8月に新しくコンクリート橋に架け替えられ、余部駅側の3本の橋脚は現地保存されました。そして、平成25年5月に余部鉄橋「空の駅」展望施設として生まれ変わりました。観光地としてこれまで多くの方々にご利用されてきましたが、展望施設までの急勾配の上り坂が観光客の大きな負担となっていました。そこで、地域の活性化と観光客の利便性向上のためにエレベーターを設置し、平成29年11月26日から利用開始しました。

展望施設の北側は日本海を一望でき、南側は新余部橋梁を通過する列車の姿を見ることができます。

是非一度、大迫力な眺望をお楽しみください。

## 2. 建物概要

所在地：兵庫県美方郡香美町香住区余部1710-3

建築主：香美町

設計・監理：ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社

施工：株本・西山特別共同企業体

建築用途：展望用

延床面積：約120㎡

構造：鉄骨造

階床数：地上2階

建屋高、軒高：約47m

工期：2016年9月～2017年11月

竣工日：2017年11月26日

## 3. 昇降機設備

昇降機設備は、余部展望施設の景観を損なわないようにエレベーター機械室を下部に設置したベースメントタイプのエレベーターが1台設置されています。

昇降路は日本海の海岸から100m程度の場所に設置されています。乗場は屋外に面しており、乗場仕上は全てステンレスヘアラインで統一し、電気意匠品には可能な限り塩害対策を実施しています。

かご内も乗場同様に、乗場から見て左側面の壁はステンレスヘアライン仕上とし、正面と右側面の壁には大形の展望窓付として、かご内より日本海の眺望が広がり、エレベーターの上昇と同時に、展望施設への期待感も大きく膨らみます。

昇降路内に固定しているフェッシャープレートは、パンチングメタルを使用しガラスシャフトの透過性を上げています。

クローズアップ



1号機 かご内



1号機 かご内



1号機 2階乗場



1号機 2階乗場

エレベーター仕様 (計1台)

号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
1	乗用	インバーター	乗合全自動方式	1000	15	60	1	2 (1～2)	三菱	展望用、車いす仕様